様式Ⅱ－９　定例報告様式　　　　　　　　　　（イノベーション創出強化研究推進事業）

〇年○月

試験研究計画別進捗状況の定例報告（記入例）

試験研究計画名：○○○・・・・・・・

研究統括者名　：○×　□△

期　　　　間　：○○年〇月～〇月

１．この間に実施した主な作業内容

　当該試験研究計画の推進に係る、代表的な調査地点等における主要な調査・試験研究の実施状況を箇条書きで記述してください。その際、計画に対する進捗状況等も記載してください。特に、実証地の状況についても可能な範囲で記載してください。

・水稲湛水直播試験　予定通り〇月△～□日に実施　ほぼ予定の作業時間で開発した播種機性能が確認できた。播種精度（苗立ち率）も計画通り。生育は順調。

・〇〇市実証地　〇月の多雨のため前作コムギの収穫が遅れ、後作ダイズの播種作業が遅れて生育は遅延気味。なお、コムギの穂発芽被害は認められなかった。

２．この間における主な広報及び普及活動

　当該月の主な見学対応、取材等への対応を記載してください（広報に関する届け出が行われているものは、別途、事務局で整理します）。

・実証試験地周辺のJA○から見学依頼があり、○月○日に対応。JA○では次年度は新型直播機を3台導入の予定とのこと。

３．今後の主な予定

今後予定されている主な行事等を記載してください。

・○月○日に現地検討会(×月×日予定)の説明を地元JAに実施。

４．試験研究推進上の特記事項

　当該期間における研究推進に係り生じた課題と対応等特記すべき事項があれば記載してください。

・融雪が例年に比し２週間程度遅延したが、土壌凍結深制御（雪割り）技術を導入していたため、当初計画より1週間の遅れで作業が可能となり、生育遅延による収量への影響は小さい見込み。

（提出の際は、赤字、青字の部分を削除して黒字で作成ください)